

首を長くして

口を開けて鏡を見ると、前歯はスコップのように薄く、犬歯は尖ったつるはしのような形、奥歯はハンマーのように大きく平べったい。同じ口の中でも人間の歯の形はいろいろ。それぞれに役割があるからです。

私のお気に入りの展示の1つに、吹き抜け部分に吊り下げられた迫力満点の首長竜タラソメドンがあります。「一見して「かっこいい！」と感動するだけでなく、よく観察すると色々なことが分ります。階段を上りきると頭骨が近くに見えるので、歯の形に注目してみるのもオススメです。鋭く尖った歯がずらりと並んでいます。白歯のように食べ物をすり潰す歯はありません。そのため、生きていた時には魚などを丸呑みしていたと考えられています。あんな長い喉に引っかかることなく胃まで飲み込むのは大変そうですね。



首だけでも人間の大人よりも大きいタラソメドン。迫力あります。

長い首と言えば、キリンも人間もほ乳類の首の骨の数は同じ7個なのに、爬虫類のタラソメドンには約60個もあります。ということはヘビのようにぐにやぐにやと自由に動いたのかな？展示の中には身体のパーツに焦点を当てた解説もあるので、ぜひ読んでみてください。

団体のお客様の中には下見の際に「子どもたちより、自分の方が楽しんじゃいそうだな」「もっと科学館にいる時間を長めにとった方が良さそうだな」という言葉が出ることも。子どもはもちろん、大人も楽しめ、新しい知識を得ることが科学館の魅力だと思えます。

そんな好奇心旺盛な皆様の来館を、タラソメドンに負けないくらい首を長くして待っています！

ID 0203429

ショー ワークショップ おはなし かんさつ 9月 イベントカレンダー

- 30 音の不思議を科学する
- 24 展示解説「ダンゴムシとなかまたち」
- 23 ペンケースでころ
- 18 南極の氷を観察しよう
- 17 小学校中学年向けかがく教室 ふんわり鳥を飛ばそう
- 16 アンモナイトをさがそう！
- 10 展示解説「サメ展」
- 9 小学校低学年向けかがく工作室 ゴムで動くおもちゃ「カンパック」をつくろう
- 9 平出さん・中村さんのマジックショー
- 3 キラキラ結晶花づくり
- 3 おはなしライブ
- 2 科学ふしぎ発見！

藤吉隆雄 STS 研究写真展

1996年のブルーインパルス
～空の記憶と記録を集める～

航空自衛隊のアクロバット飛行チーム「ブルーインパルス」。T-4 型機を採用しての最初の全国ツアーである 1996 年シーズンを追った写真を展示します。



とき 9月23日祝 ～ 11月6日月 ところ 2階 地球ひろば (入場無料) ID 0212941

関連講演会 事前予約制・参加無料

蒲郡での3年連続ブルーインパルス航空ショーを追う！～航空自衛隊公式記録のナゾの証拠を探る旅～

とき 10月21日土 午後2時～3時30分 講師 津田塾大学 総合政策研究所 特任研究員 藤吉隆雄

9月1日～事前予約受付開始。詳しくは、生命の海科学館のホームページを確認してください。

共催：ブルーインパルスファンネット（調査研究部会） 協力：あいちサイエンスフェスティバル、市民科学コミュニケーションサークル「KagaQ」